



## 北山支店運営委員会 & 北山小学校

運営委員会と支店職員は一支店一協同活動として5月下旬、5年生35人とともに田植えを行いました。5年生の学習サポートとして毎年行っていて、収穫から餅つきまでを体験し、地元農業と食への理解を深めます。

## 富丘支店運営委員会 & 富丘小学校

運営委員会と支店職員は一支店一協同活動として6月7日、2年生4クラス128人を対象に「野菜の作り方講座」を開きました。児童たちが鉢で育てている夏野菜の生育状況を確認しながら、仕立てや今後の管理方法をアドバイスしました。



## 山宮地区組合員・北山支店 & 山宮小学校



支店職員と地区組合員の赤池恵子さん、赤池成子さん、金森行博さんは6月6日、3年生16人の学習サポートとしてサツマイモの苗植え体験を開き「べにはるか」120本を植えました。



11月の収穫、12月の「干し芋づくり」に向け育てていきます。

## 地区販売課 & 大中里こども園

地区販売課では、育苗センターで管理した水稻苗を市内各所へ配給し、食農教育活動を広げています。田んぼがなくても米作りを体験してもらおうと、大中里こども園などではバケツを田んぼに見立てた「バケツ稲づくり体験」を開きました。



## 地区営農課 & 市民親子の皆さま

地区営農課では富士・富士宮市在住の小学生または小学生以下の子どもがいる家族を対象にした「落花生栽培体験」&「ライススクール」を開いています。28組約90人が参加し、5月下旬に田植えと種まきを開催。約半年を通して収穫・餅つき大会も行います。



当JA富士宮地区の営農部署や支店では「食農教育活動」を行い、地域の子どもたちに食と農の大切さ・作って食べる喜びを伝えていきます。地域の農家組合員の皆さまの協力も得て、5月～6月にかけて富士宮市内でさまざまな活動を行いました。

## JAと地域の「食農教育活動」



## ライスセンター稼働のご案内

期間 令和5年8月25日(金)～10月31日(火) 受付時間 8:30～12:00 / 13:00～17:00

お問い合わせ ●JAふじ伊豆富士宮ライスセンター ●JAふじ伊豆富士宮営農経済センター ☎0544-58-3800 ☎0544-58-7182

### 令和5年度ライスセンター利用料金表

うるち 粉摺り料金	品種ごとの1日の合計搬入量		1俵当たり仕上げ料(税込)
	15俵未満	15俵以上～50俵未満	50俵以上

うるち 乾燥料金 (仕上がり1俵(60kg) 当たりの料金)	搬入時の粉水分(%)		平日(税込)	土・日・祭日(税込)
	17%未満	17%以上～19%未満	1,100円	1,320円
	19%以上～21%未満	21%以上～23%未満	1,210円	1,430円
	21%以上～23%未満	23%以上～25%未満	1,430円	1,650円
	23%以上～25%未満	25%以上	1,650円	1,870円
			1,870円	2,090円
			2,090円	2,310円

もち* 粉摺り料金	品種ごとの1日の合計搬入量		1俵当たり仕上げ料(税込)	
	15俵未満	15俵以上～50俵未満	50俵以上	935円 880円 825円

**※ご注意※**  
ご利用予定の方は搬入予定日の前日までに必ずご予約下さい。お預かりしたお米は、搬入日ごとに予約順で作業を進めさせていただきます。色彩選別のみ利用は10月2日以降の受付となります。予約状況によっては、お受けできない場合があります。

\*もちについては、原則、色彩選別機を通しません。  
\*もち乾燥料金については、うるちに対して1俵当たり110円増しです。  
◎玄米を持ち込み、色彩選別機のみご利用の場合は、1俵880円掛かります。  
◎配送料については富士宮営農経済センター(☎0544-58-7182)にご相談ください。



## 令和5年度「くず米」の取り扱いについて

### 出荷規格

- ①「令和5年産 くず米」※うるちのみ、もちは取り扱いません。
- ② 1袋/25.5kg(皆掛け=袋込の量目) ※端数は取り扱いません。
- ③ 令和5年産に限りです。※古米は取り扱いません。
- ④ 原則新品の紙袋を使用してください(害虫防止のため)。
- ⑤ 袋の面に出荷者名を黒マジックで記入して下さい。  
※カビや虫が混入したくず米はお受けできません。

### 出荷方法

- 集荷を依頼される場合** 最寄りの支店へお申し込みください。  
◎運賃は富士宮営農経済センター(☎0544-58-7182)にご相談ください。
- ご自身で持ち込みの場合** ライスセンターまでお持ちください。

### 出荷期間

- 集荷の場合** 集荷期間/10月2日(月)～10月20日(金)  
(土・日・祝祭日は集荷しません。)
- 持ち込みの場合** 荷受期間/10月2日(月)～10月20日(金)  
持込時間/9:00～12:00  
(土・日・祝祭日はお受けできません。)

組合員の皆さまの相続や生活面でのトラブルなどについて直接専門家にご相談いただけます。

## 税務相談会

相談料無料

### 電話予約制

8月 9日(水)・23日(水)  
9月 13日(水)・27日(水)  
13:00～

※開催日1週間前までの予約をお願いします。

## 法律相談会

相談料無料

### 電話予約制

8月 16日(水) | 9月 20日(水)  
13:30～

※開催日1週間前までの予約をお願いします。

### 会場

JAふじ伊豆 富士宮地区本部  
(富士宮市外神東町117:市民プール北側)

### お問い合わせ・お申し込み

不動産相談センター富士宮店  
☎0544-58-0303

## 年金相談会 相談料無料

### 電話予約制

JAふじ伊豆  
北山支店(富士宮市北山1529-15)  
8月17日(木) 13:00～19:00  
予約受付 ☎0544-58-0456

JAふじ伊豆  
柚野支店(富士宮市大鹿窪198-2)  
9月7日(木) 13:00～19:00  
予約受付 ☎0544-66-0111

※上記日程・支店で相談をご希望の方は、事前に電話予約をお願いします。

**持ち物** ・年金手帳・基礎年金番号通知書・年金証書  
・年金加入記録のお知らせ・印鑑・通帳

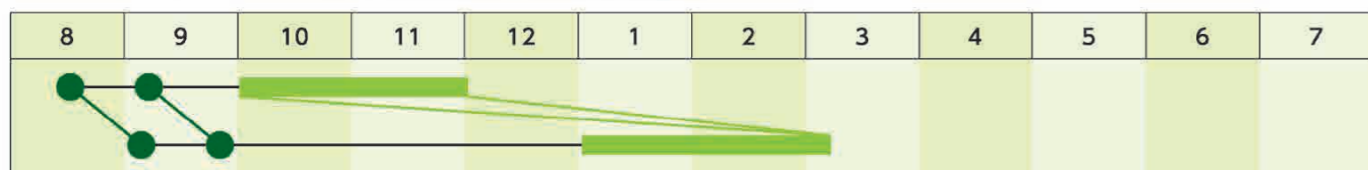




# ふじのみや資材館 今のイチオシ!

## 大根の栽培ごよみと 育て方のポイント

●.....は種 ———育苗・生育 ———収穫



- 連作は避ける。2～3年は空ける。
- 肥料は常に一定して効かせる。
- 秋どりで播種後、60～70日が収穫適期。

**POINT** **コンパニオンプランツ(混作・混植)で害虫予防!**  
「モンシロチョウ」「コナガ」が嫌う春菊・レタス・ニンジン近くには植えると、害虫被害にあいにくくなるといわれています。

### 病虫害

病害で最も被害が大きいのは、ウイルス病と軟腐病です。ウイルスを防ぐにはアブラムシ防除をしっかりとする必要があります。地際部から腐って悪臭を放つ軟腐病が発生したら抜いて処分するしかありません。害虫ではアオムシ、ヨトウムシ、クスジノミハムシなどに注意します。

間引き菜、つまみ菜に使用しないなどの注意事項があれば、薬剤散布したものは食用にしないよう注意してください。

### クスジノミハムシ対策 フォース粒剤

- ・10aあたり4～9kg
- ・は種時に1回
- ・播溝土壌混和

\* 劇物のため購入の際は  
印鑑が必要です。



### アブラムシ対策 オルトラン粒剤

- ・10aあたり3～4kg
- ・は種前に1回
- ・作条散布



### 肥料

元肥少なく追肥メインでじっくり肥大させる。

### 新FTE S280

元肥・追肥 正味20kg▶

成分:12-8-10  
苦土 2.0 マンガン 0.4  
ほう素 0.2



### ニュー大八洲

元肥・追肥 正味20kg▶

成分:7-6-8  
ほう素 0.3



### すぐ食べレンジ

### 資材



### 生鮮野菜を鮮度保持 &調理時間の短縮に最適!

野菜を新鮮な状態に保てるパッケージとしてだけでなく、袋のままレンジで調理ができる野菜袋です。

トウモロコシ・枝豆・サツマイモの3種類があります。出荷用袋や家での時短調理にいかがですか?



佐野侑生 職員

【お問い合わせ】 ぶじのみや資材館 住所:富士宮市外神102-5 営業時間:午前8時～午後4時(火曜定休) 電話:0544-58-7164

## キラキラ★女性部

JAふじ伊豆女性部富士宮地区本部内のさまざまな活動をご紹介します。

▶清拭タオルを寄付する  
佐野部長(左)と芦澤会長(右)



富士宮地区本部 & さくらの会

富士宮地区本部の佐野博子部長と女性部助け合いグループ「さくらの会」の芦澤貞江会長、地区組織課職員は5月23日、市内特別養護老人ホーム「富士宮荘」を含む2カ所を訪問し、手作りの清拭タオル200枚を寄付しました。寄付は福祉ボランティアの一つで、平成6年からスタート。コロナ禍の休止を経て再開しました。施設からは「日々々のケアで施設内では欠かせないものなのでありがたい」との声がありました。

清拭タオル寄付で  
地域福祉に貢献

躍中です。



各支部

▲協力してホウ酸団子を作る部員  
上野支部(写真左) 富士根支部(写真右)

### ゴキブリ G対策に ホウ酸団子

上野支部と富士根支部では4月～6月の支部活動でG(ゴキブリ)対策のためのホウ酸団子づくりを行いました。団子は古タマネギ・小麦粉・牛乳などを使ってでき、部員からは家でそろそろ材料でできて便利、昨年もゴキブリを見ずに過ごせたと好評でした。今回作った団子も各家庭の台所や倉庫などで活躍中です。

女性部員有志で集まる「宮茶(みやちゃ)レディーズ」は、黒田小学校3年生約80人の学習サポート活動として、急須を使った「おいしいお茶の入れ方教室」を開きました。今年4月に茶農家の杉山弘子会長のもとで児童たちが摘み取った茶葉も使用。お茶の成分の講話の後、グループごとにメンバーが講師となり、水とお湯で変わるお茶の味の違いや好みを見つけてもらいました。



宮茶レディーズ

急須のお茶に親しみをもって

## 各種講習会・相談会開き、組合員の農業経営をサポート

▶肥料価格高騰対策事業の相談会で申請受付をサポートするJA職員(左)



富士宮地区の宮農課・販売課・購買課では、生産資材の高騰や作物の管理時期に合わせ、組合員の不安解消と農業経営をサポートするため、5月～6月にかけて「蔬菜園芸講習会」、「肥料価格高騰対策事業相談会」、「田んぼの相談会」をふじのみや資材館で開催しました。農業肥料メーカー担当者も招き、経費削減に役立つ肥料施肥、農薬散布方法などの講習会や各組合員の水稻栽培のアドバイスを行ったほか、JA職員が内容を聞き取り、春肥の肥料価格高騰対策事業の申請・相談受付を行いました。

## 農地整備で営農指導、県の事業活用

当JA子会社の(株)JA富士山駅は、令和4年度の静岡県「ふじのくに」農のある暮らし創造事業「半農半Xタイプ」を活用し、農地利用希望者が利用する土地の整備と営農指導を行っています。土地の整備は、(株)JA富士山駅がこれまで行ってきた「耕作放棄地対策事業」の技術を応用しました。6月5・6日には、老人ホームを運営する富士市のウエストトラスト・ライフサポートの畑でジャガイモの収穫を迎え、施設入居者と職員に笑顔が広がりました。施設担当者は「入居者に新鮮でおいしい食事の提供と土に触れて楽しんでほしい」との思いで始め、手厚く指導してもらいありがたかった。皆さんから喜ぶ声を聞き、うれしさややりがいを感じた。今後多くくの野菜を作りたいと話しました。

## 営農×自己改革



▲(株)JA富士山駅の後藤安弘取締役(右)が見守るなか、掘り出したジャガイモに喜ぶ参加者